

森林学会大会「高校生ポスター発表」最優秀賞

3月23日、日本森林学会大会「第9回高校生ポスター発表」にて矢部高校林業科学科が最優秀賞を受賞しました。「林業のチカラ×ふくしの心～山都町の木材を活用した福祉用具の開発～」と題したポスターは、町の木材を活用した認知症予防パズルの開発・製作過程についてまとめられたもので、林業の活性化と福祉への貢献に取り組んだことなどが評価されました。同科3年生の和田遥生さんは「最優秀賞を受賞することができて嬉しい。今回の受賞で矢部高をアピールできたら」と話しました。



矢部高校林業科学科3年生

特別叙勲(旭日単光章)受章

3月31日、町長から田中 傑さん(米迫)のご遺族に叙勲が伝達されました。

この叙勲は、長年の地方自治功勞に対して今上天皇から授与されるもので、故田中さんは、平成元年9月に蘇陽町議会議員に初当選以来、平成13年9月まで、通算3期12年に渡り在職され、議長、議会運営委員会委員長、産業振興常任委員会副委員長、総務文教常任委員会委員を歴任されるなど、町の進展に大きく貢献されました。



田中 傑さんのご子息 田中 忠さん(左)

春の全国交通安全運動が実施されました

4月6日、山都警察署において春の全国交通安全運動山都地区推進大会が開催されました。大会では子供や高齢者の事故防止や飲酒運転根絶などの安全運転意識の向上を誓い、パトカーが先導して街頭活動に出発しました。

運動期間中(4月6日～15日)は、肥後ハーレー会が町内の各地を巡り交通安全ハーレーパレードを行い、矢部高校の生徒さんが丹精込めて育てた花苗を来訪者に渡し、事故を起こさないよう安全運転をお願いしました。

また、山都警察署前の国道218号では、矢部中学校や矢部高校の生徒さんが、車両の運転手に安全運転を呼びかけ、交通マナーの向上をお願いしました。



山都ライオンズクラブから学校図書購入費の贈呈

3月25日、役場本庁において、山都ライオンズクラブ(武元典雅会長)から町内小・中学校へ図書購入費の贈呈がありました。贈呈に訪れた、同クラブの田辺成一副会長は、「コロナの猛威で学校や子どもたちは大変だと思う。ぜひ、本をたくさん読んで、大変な時期を乗り切りたい」と、井手教育長に伝えられました。

山都ライオンズクラブは、これまで献血事業への協力や薬物乱用防止キャンペーンを実施されるなど長年にわたって地域に密着した奉仕活動を行われています。

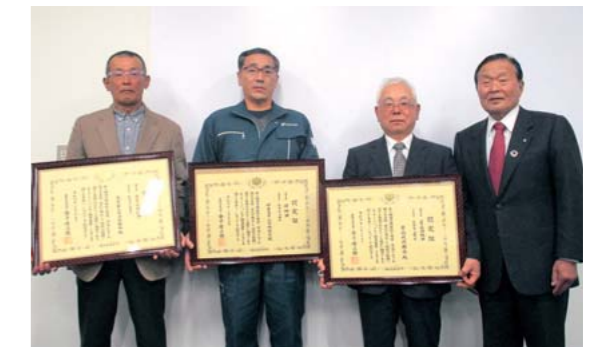


田辺成一副会長(左)と井手教育長(右)

町内の棚田が「つなぐ棚田遺産」に認定

3月25日、町内にある棚田の「菅迫田棚田(菅)」「峰棚田(島木)」「白糸台地棚田(白糸地区)」が棚田地域振興の積極的な取組を評価され、農林水産省が主催する「つなぐ棚田遺産」に認定されました。

3つの棚田では、棚田オーナー制度や棚田復興ボランティアの募集、江戸時代に築造された歴史ある井手(水路)の保全など、棚田の維持や都市交流といった様々な棚田地域の振興に関する取り組みを行っています。



左から白糸第一自治振興会 山村会長、峰集落中山間協定 黒田代表、菅地域振興会 甲斐会長

持続可能な農業推進コンクール九州農政局長賞受賞

4月5日、「令和3年九州地域未来につながる持続可能な農業推進コンクール」有機農業・環境保全型農業部門で九州農政局長賞を受賞された西山幸司さん(長田)が、報告のため町長を訪問されました。

西山さんは就農後、有機農業技術の普及と新規就農者の研修受け入れや若手有機農業者育成などに取組み、その功績が高く評価されました。西山さんは「SDGs未来都市の山都町の農業者として、持続可能な有機農業の未来を作って行きたい」と思いを話されました。



西山 幸司さん(左)

熊本県農業コンクールに本町から2組受賞!

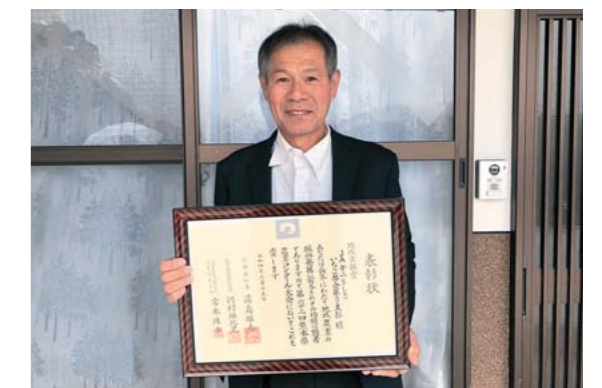
3月15日、熊本市のホテル熊本テルサにて、「令和3年度熊本県農業コンクール大会表彰式」が開催されました。

本町からは2組が受賞され、鳥越靖基さん・鳥越万里子さん夫妻(金内)が、「新人王部門」にて秀賞とグリーン農業賞を受賞しました。鳥越さん夫妻は、山都町に移住してから有機農業を始め、有機農業者で構成される生産者団体を設立するなどして販路の拡大に取り組んでいます。また、新規就農者の支援や、(株)山都でしかを立ち上げ、町おこしに取り組んでいることなどが評価され今回の受賞につながりました。

さらに、JAかみましきいちご部会第3支部が、地域貢献賞を受賞しました。当支部は、山都町での振興品目に位置づけられているいちごの生産力向上、農家の所得向上を目指している団体です。経営安定を図った現地検討会や、圃場の巡回など農家の技術向上を図った取り組みを行っていることなどが評価され、今回の受賞となりました。



鳥越靖基さん・万里子さん



JAかみましきいちご部会第3支部長 藤岡正輝さん

「人権の花」運動 花の種子伝達式

4月21日、清和小学校で「人権の花」運動の種子伝達式が行われました。この運動は、子どもたちが協力しながら花を育てることで、生命の尊さを実感し、優しさと思いやりの心を育むことを目的とし、法務局により毎年指定された小学校にて実施されているものです。

式では、昨年度実施校の益城町立広安小学校から贈られた花の種子が山中敏子委員より同校6年生の甲斐将生さんに手渡され、片山慎太郎さんが児童を代表して「みんなで協力して育てます。育てることを通して感謝する心や命の大切さを考えていきます。」と挨拶しました。



児童代表生徒と人権擁護委員のみなさん

有機の学校ORGANIC SMILE(オーガニック スマイル)開校式

4月16日、有機の学校ORGANIC SMILE(オーガニックスマイル)の開校式が行われました。

有機の学校ORGANIC SMILEは、高品質多収穫を実現する「BLOF理論」を基礎理論として、年間108時間、座学と実践を通して有機栽培技術から農業経営まで学ぶことができる学校です。今年度は町内や県内各地から10名が入校され、開校式では町の先輩農家の講義や校歌の披露がありました。

入校生からは「栄養価の高い野菜づくりを勉強したい」「有機栽培を利用したパンを作りたい」「勉強して独立できるようにになりたい」など、一人ひとり目標を話されました。



ORGANIC SMILE校歌披露

お茶の豊作を祈って『献茶祭』

5月2日、小一領神社にて山都町茶振興会による献茶祭が開催されました。町産の新茶を奉納し、産地茶の豊作と全国茶品評会上位入賞を祈願しました。

今年は、冬場が寒く、最初の生育は少し遅かったものの、基本的には天候に恵まれ、品質の良いお茶が生産できると期待されるとのことです。

中村賢一会長は挨拶で「今日は八十八夜です。生産者は一年をかけてこの日を迎えました。町民の皆さんも町産のお茶を飲んでいただき非常に感謝しています。」と話しました。



山都町茶振興会、各関係機関のみなさん

地域の隠れた才能を発信『まみはら寺フェス』

4月29日、龍専寺にて「まみはら寺フェス」が開催されました。

これは、地域の人々の作品を皆に知ってもらおうと、馬見原中卒業生有志が主催し、町出身の画家 秋本八千代さんの作品や、世界陸上日本代表を務めた森下由輝さんの受賞記念グッズ、地域住民による工芸品などの展示が行われました。

作品を展示された秋本さんは「皆に見ていただくことができ幸せ」と笑顔で話していました。



秋本八千代さんの作品